

JIS

鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の 超音波探傷試験方法及び判定基準

JIS Z 3062 : 2014

(JRJI)

平成 26 年 6 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	粟飯原 周二	東京大学
(委員)	伊勢典浩	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	榎本正敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太田幸男	高压ガス保安協会
	北田博重	一般財団法人日本海事協会
	吉良雅治	一般社団法人日本産業機械工業会
	高田 一	JFE テクノリサーチ株式会社
	竹本 正	大阪大学名誉教授
	田中裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	谷口 元	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社竹中工務店)
	中田 一博	大阪大学
	長谷川 博	一般社団法人日本溶接協会
	山下泰生	株式会社神戸製鋼所
	山根 敏	埼玉大学
	山口富子	九州工業大学

主 務 大 臣：経済産業大臣，国土交通大臣 制定：昭和 63.6.15 改正：平成 26.6.25

官 報 公 示：平成 26.6.25

原 案 作 成 者：公益社団法人日本鉄筋継手協会

(〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-14 安井平河町ビル TEL 03-3230-0981)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：溶接技術専門委員会 (委員長 粟飯原 周二)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] 又は国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験技術者	2
5 探傷装置の機能及び性能	2
5.1 探傷装置の機能及び性能	2
5.2 探触子の性能	2
5.3 接触媒質	2
5.4 探傷装置の点検	2
6 探傷試験の準備	3
6.1 確認事項	3
6.2 探傷の時期	3
6.3 探傷面の手入れ	3
7 探傷装置の調整	3
7.1 測定範囲の調整	3
7.2 基準レベルの設定	3
7.3 合否判定レベルの設定	4
8 探傷試験	4
8.1 探傷方法	4
8.2 走査方法及び走査範囲	4
8.3 走査速度	6
9 判定基準	6
10 記録	6
附属書 A (規定) 汎用探傷器の機能及び性能	7
附属書 B (規定) 専用探傷器の機能及び性能	8
附属書 C (規定) 探触子の性能	10
附属書 D (規定) 専用探傷器の点検方法	11
附属書 E (規定) 対比試験片	13
解 説	15

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本鉄筋継手協会（JRJI）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣及び国土交通大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS Z 3062:2009** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣、国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の 超音波探傷試験方法及び判定基準

Method and acceptance criteria of ultrasonic examination
for gas pressure welds of deformed steel bars for concrete reinforcement

1 適用範囲

この規格は、**JIS G 3112** に規定する D16 以上の異形棒鋼（以下、鉄筋という。）のガス圧接部の超音波探傷試験方法及び試験結果の判定基準について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0801 圧力容器用鋼板の超音波探傷検査方法

JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材

JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼

JIS Z 2300 非破壊試験用語

JIS Z 2345 超音波探傷試験用標準試験片

JIS Z 2350 超音波探触子の性能測定方法

JIS Z 2352 超音波探傷装置の性能測定方法

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS Z 2300** によるほか、次による。

3.1

リブ間距離

鉄筋の表面突起のうち、軸線方向の突起をリブといい、この相対するリブ外面間の距離（**図 1** 参照）。

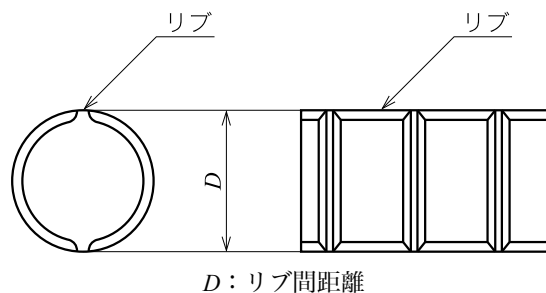


図 1—鉄筋のリブ間距離